

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年01月05日

計画の名称	浜名湖観光圏の快適で魅力ある観光地づくり														
計画の期間	平成31年度 ～ 令和05年度（5年間）											重点配分対象の該当			
交付対象	浜松市														
計画の目標	【大目標】 観光圏の整備による観光旅客の来訪及び滞在を促進させる 目標1：観光拠点の魅力と安全性を高め快適に過ごせる観光地づくり 目標2：多様な移動方法に対応した案内による、移動アクセスの利便性、回遊性の高い観光地づくり 目標3：施設のUD化を進め利用者にやさしい観光地づくり														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		1,771	A	1,771	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29	H33	H35
1	館山寺地区の滞在宿泊者数の増加			
	館山寺地区の滞在宿泊者数の増加	460千人	千人	480千人
	浜名湖観光圏の主たる滞在促進地区における年間宿泊者数			
2	浜松総合公園来園者の満足度の向上			
	浜松総合公園来園者の満足度の向上	40点/10	点/10	45点/10
	来園者アンケート（5点評価）による満足度			
3	浜名湖サイクリングロード利用者数の増加			
	浜名湖サイクリングロード利用者数の増加	39400人	人	41300人
	観測を設定しサイクリングロード利用者を調査			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	浜松市	直接	浜松市	－	－	都市再生整備計画事業 浜名湖周遊観光圏地区	公園、地域生活基盤施設、提案事業	浜松市	■	■	■	■	■	1,771	3.9	未策定
											小計						1,771		
											合計						1,771		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31	R02	R03	R04	R05
配分額 (a)	362	56	109	60	100
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	362	56	109	60	100
前年度からの繰越額 (d)	0	149	0	0	0
支払済額 (e)	213	205	109	60	100
翌年度繰越額 (f)	149	0	0	0	0
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

都市再生整備計画(第2回変更)

は ま な こしゅうゆうかんこうけん ち く
浜名湖周遊観光圏地区

しずおかけん はまつし
静岡県 浜松市

令和3年1月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	☐
都市再生整備計画事業	☒
まちなかウォークアブル推進事業	☐

目標及び計画期間

様式(1)－②

都道府県名	静岡県	市町村名	浜松市	地区名	浜名湖周遊観光圏地区	面積	1780	ha
計画期間	令和	1	年度	～	令和	5	年度	
					交付期間	令和	1	年度
						～	令和	5
							年度	

目標
【大目標】 観光圏の整備による観光旅客の来訪及び滞在を促進させる
目標1: 観光拠点の魅力と安全性を高め快適に過ごせる観光地づくり
目標2: 多様な移動方法に対応した案内による、移動アクセスの利便性、回遊性の高い観光地づくり
目標3: 施設のUD化を進め利用者にやさしい観光地づくり

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 ○浜名湖観光圏 ・浜名湖観光圏は、浜名湖を中心とした、浜松市、湖西市の広域連携からなる観光圏である。 ・浜名湖観光圏には、年間240万人以上の宿泊者が全国より訪れている ・浜名湖周辺には、館山寺、弁天島などの温泉地、動物園、フラワーパーク、遊園地などのレジャー施設、大河ドラマ化された「井伊直虎」にかかわる名利、国の特別史跡に指定されている「新居関所」などの歴史・文化施設、さらに「浜名湖うなぎ」に代表される「食」も加え観光資源が多く点在する。また、浜名湖及び遠州灘海岸は、マリンスポーツが盛んな地域でもあり、マリンスポーツの聖地を目指している。 ・交通アクセスは、浜名湖を取り囲むように、鉄道（JR浜松駅、弁天島駅、天竜浜名湖鉄道）、東名高速道路（浜松西IC、三ヶ日IC、浜名湖SAゲートウェイ）、国道1号バイパスが整備され充実した地域である。 ○まちづくりの経緯および現況 ・浜松市では、観光への取組として、平成18年に「浜松市観光ビジョン」を策定し、観光交流のハブを目指した取り組みを進めるとともに、平成21年度には、本市と湖西市を圏域とした浜名湖観光圏の認定を受け、観光ブランドづくりに取り組んできた。 ・当地域は、浜名湖観光圏の代表的な観光資源である「浜名湖」を中心に、湖西市との広域的な連携に加え、官民の連携により浜名湖地域の観光客の来訪と滞在を促進するため地域一体となった観光地づくりを進めてきた。 ・平成26年6月には、「浜名湖観光圏整備計画」を策定。観光客宿泊数の増加、来訪者満足度の増進、来訪者旅行消費額の増加等を目指し、様々な事業を進めている。 実施事業：（滞在プログラム）浜名湖に立ちってみる事業、ぐるっと浜名湖トレイル事業等 （社会資本整備との連携）浜名湖周遊自転車道整備、浜名湖SAゲートウェイ整備事業、館山寺SIC整備事業 ・現在、地域直近のゲートウェイ整備として、東名高速道路に館山寺スマートインター新設事業（平成30年度供用予定）を進めている。また、浜名湖サービスエリアから浜名湖遊覧船に直接乗船が可能となり、多様なゲートウェイも構築されつつある。 ・市の施設である、浜松総合公園には、浜松市動物園、はままつフラワーパークがあり、開園から50周年を迎える。これにあたり、施設の老朽化への対応、UD化等と合わせて、観光拠点としての魅力増進を目指し、再生整備計画を進めている。 ・広域に点在する観光資源をネットワーク化する事業の一つとして、湖西市と連携し浜名湖サイクリングロードにおいて浜名湖を1周出来て、かつ、観光資源を案内できるサイン事業を進めている。
課題
・開設から数十年経つ観光拠点（浜松市動物園、はままつフラワーパーク）では、施設の老朽化が進み、魅力の低下や安全性確保が課題となっているため施設の更新が必要である。 ・サイクリングロードの整備や、SICの整備が進む中で、観光拠点への案内、情報版等の対応が遅れておりサイン整備が必要である。 ・地域内の各施設において、子供から高齢者、障がい者まですべての来訪者が、安全で快適に楽しめるよう施設のUD化を進める必要がある。
将来ビジョン（中長期） 【浜松市総合計画】 ○産業経済10年後の目標（政策の柱） ◆来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。 ○チャレンジプロジェクト ◆国内外に通用する浜松ブランドを確立し、観光関連産業を主要な産業の1つにする。 【浜松市”やらまいか”総合戦略】 ◆浜松・浜名湖ブランドの確立による交流人口の拡大 【浜松市都市計画マスタープラン】 ◆浜名湖の豊かな自然環境の保全とともにこれらを観光資源としてまちづくりに有効活用し、交流人口拡大を図っていく 【浜名湖観光圏整備計画】 ◆観光地、宿泊地、観光施設を点ではなく、広域な連携で強化を図る。 ◆通過点から目的地となるべく魅力的な観光資源を提供していく ◆浜名湖でしか味わうことのできない独自の価値を商品化し、感動を与える空間形成とそれらをわかりやすく伝えられるブランドイメージを構築する。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	
						目標値	目標年度
館山寺地区の滞在宿泊者数	千人/年	浜名湖観光圏の主たる滞在促進地区における年間宿泊者数	交流人口の拡大	460	H29	480	R5
浜松総合公園来園者の満足度	点	来園者アンケート(5点評価)による満足度	市民・旅行者に親しまれる空間の創出を図る	4.0	H29	4.5	R5
浜名湖サイクリングロード利用者数	人/年	観測を設定しサイクリングロード利用者を調査	利便性、回遊性の向上による利用者の拡大	39,400	H29	41,300	R5

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
・観光拠点の魅力と安全性を高め快適に過ごせる観光地づくり (機能更新、UD化、サイン) 施設の老朽化による魅力と安全性の低下を解消するため、UD化及びバリアフリーを考慮した施設更新をはかり、施設の魅力、利用者の安全性を向上させる。 様々な交通手段に対応した観光サインを計画的に配置し、快適な移動とアクセスを高め利用者の満足度を高める。		・基幹事業 公園 浜松総合公園整備 : はままつフラワーパーク 園路広場、修景施設、管理施設、休養施設、便益施設 浜松市動物園 いのちのふれあいゾーン 園路広場、休養施設、管理施設、修景施設、教養施設 ・基幹事業 地域生活基盤施設(情報版) 浜名湖サイクリングロード サイン整備 ・提案事業 地域総合支援事業
・多様な移動方法に対応した案内による、移動アクセスの利便性、回遊性の高い観光地づくり (サイン) 自家用車、自転車、電車等の多様な移動、アクセス手段に対応できる観光案内サインを整備し、観光拠点間のアクセスや圏域内の回遊性を高める。 サイクリングロードの案内サインを整備することで回遊性を高めるとともに、浜名湖周辺の観光拠点のPRIによりサイクリングロード利用者数を増やす。		・基幹事業 地域生活基盤施設(情報版) 浜名湖サイクリングロードサイン整備
・施設のUD化を進め利用者にやさしい観光地づくり (UD化、サイン) 子供から高齢者、障がい者まで、安心して観光拠点到滞在できるよう、施設のUD化を進める。 UDに基づいた観光案内サインを配置し、誰もがわかりやすく、利用しやすい案内を整備する。		・基幹事業 公園 浜松総合公園整備 : はままつフラワーパーク 園路広場、便益施設(昇降機) 浜松市動物園 いのちのふれあいゾーン 園路広場 ・基幹事業 地域生活基盤施設(情報版) 浜名湖サイクリングロード サイン整備
その他		
【浜松総合公園】 浜松総合公園にはフラワーパーク、浜松市動物園が開設されている。 この公園は、浜名湖観光圏整備計画において位置づけられた「主たる滞在促進地区」の地区内に位置し、地区の中核施設として集客力を高めていく必要がある。 ■フラワーパーク フラワーパークは、平成32年に開設50周年を迎えるにあたり、施設の魅力向上を図るため整備する。 平成25年に管理者制度を導入し、変動料金制を導入し経営改善に努めてきた。 「世界一美しい桜とチューリップの庭園」と銘打ち効果的な情報の発信に努めている。 ■浜松市動物園 動物たちのいのちのすばらしさ、大切さを楽しく学べる市内唯一の教育施設として動物園の再生を目指す。 再生計画を平成28年9月に策定した。 《再生の基本的な考え方》 ・動物たちを通じて“いのち”の大切さを伝えます。 ・来訪者が楽しく学べる場をつくれます。 ・来場者と動物たちをつなぐ橋渡し役になります。 【関連事業】 ○JR弁天島駅バリアフリー事業 ・・・JR弁天島駅へのエレベータ設置、駅出入口階段のスロープ化等UD化を含めたバリアフリー事業 ○弁天島浜公園再整備事業 ・・・JR弁天島駅に隣接する弁天島浜公園を民間活力により再整備を行う事業を推進。 ○館山寺SIC整備事業および周辺道路整備事業 ・・・観光圏の主たる滞在促進地区である館山寺地区と直結したゲートウェイとしてスマートインターチェンジ(平成30年度供用予定)及び周辺の道路整備を推進中。 ○ビーチ・マリンスポーツ関連事業 ・・・ビーチマリンスポーツの聖地としてブランド化を確立し、観光をはじめ産業振興などによる地域経済の活性化、ベンチャーなどの企業誘致や移住促進につなげていく ○海上交通関連事業 ・・・既存マリナー等を活用した観光遊覧や海上交通の推進 【広域連携】 湖西市 ○浜名湖観光圏整備計画 ・・・湖西市との広域連携により、平成26年6月策定。 ぐるっと浜名湖トレイル事業、浜名湖に立ってみる推進事業、浜名湖Wi-fi環境整備事業、着地型新商品開発事業、ガイド等人材開発事業、食の浜名湖ブランドブラッシュアップ事業 ○サイクリングロードサイン事業 ・・・本市との広域連携により計画された、浜名湖サイクリングロードサイン計画に基づきサイン事業を推進中。 本市と湖西市の統一されたサイン整備により浜名湖を快適に1周出来るサイクリングロードの魅力、利便性の向上を図る。		

様式(1)-④-2

(金額の単位は百万円)

...A

...B

0

1,794

[illegible]

浜名湖周遊観光圏地区(静岡県浜松市) 整備方針概要図(都市再生整備計画事業)

